

令和 4 年度 当初予算・組織の概要



第6次藤枝市総合計画 基本理念

まち・自然・文化と共生 未来へ飛躍
幸せになるまち 藤枝づくり

令和4年度 重点方針

「市民生活の総合サポート」「将来への基盤づくり」

- 市民に寄り添い、日々の暮らしを下支えする取組
- 分散型社会の中で自立し、人やモノを呼び込むまちづくり

- ◆アフター・ポストコロナへの成長基盤の構築
- ◆全ての領域への「デジタル」「グリーン」導入
- ◆抜本的な人口対策・少子化対策
- ◆地域コミュニティの活性化

重点戦略

- I コンパクト＋ネットワークのまちを創る
- II 産業としごとを創る
- III ひとの流れを創る
- IV 健やかに暮らし活躍できるまちを創る

1 当初予算・組織の概要

令和4年度 当初予算のポイント

積 極型の予算編成

過去最大規模（一般会計）

(5)(5)(7) (8)
ここなら安心 やっぱり 藤枝

557億 8,000万円

国補正予算対応分を含め 総額 563億円規模

- ◆新型コロナウイルス感染症への着実な対応
- ◆未来の基盤となる施設整備の推進
- ◆デジタル化、グリーン化の推進

市 債残高を継続的に削減

市債残高（臨時財政対策債等を除く）▲417億円
(H20:872.1億円 ⇒ R4:454.9億円)

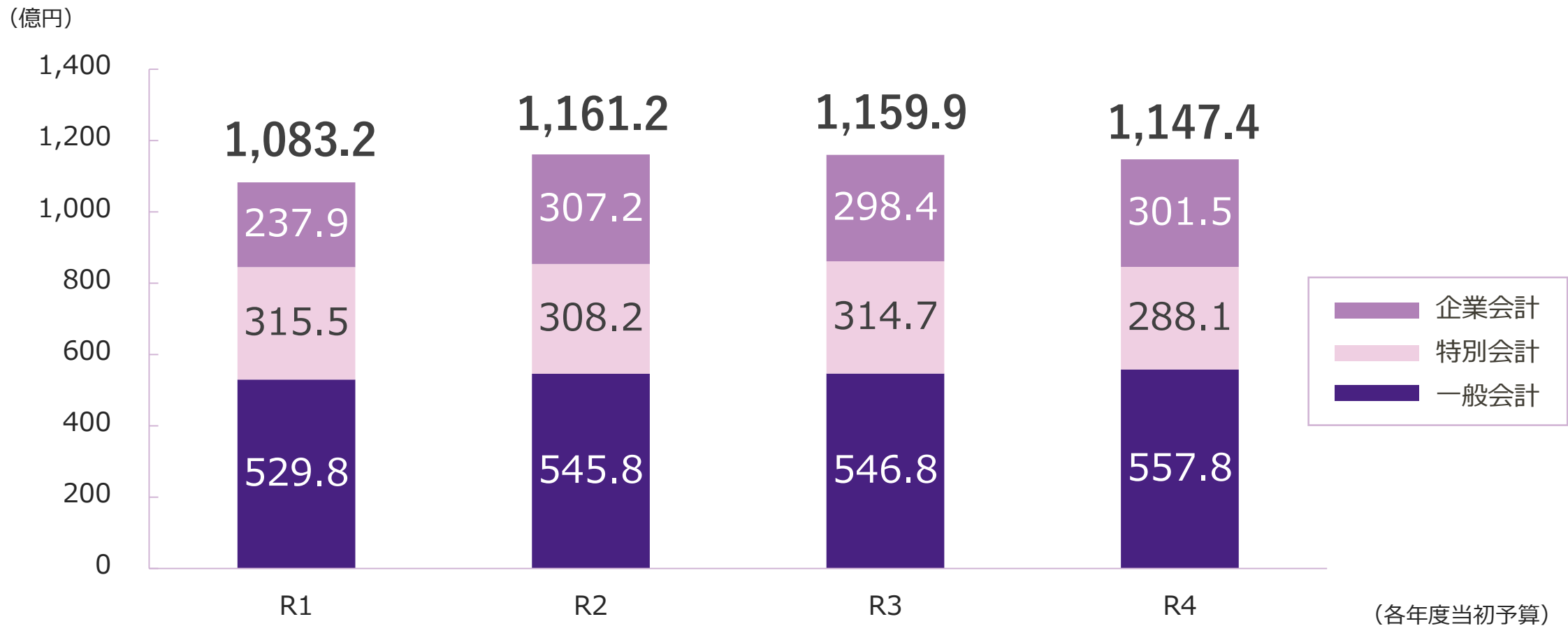
- ◆事業の推進と後年度負担の軽減を両輪で推進
- ◆金利見直しなどで公債費も削減

基 金残高は着実に確保

全保有基金残高 +56億円
(H20:113.8億円 ⇒ R4:169.5億円)

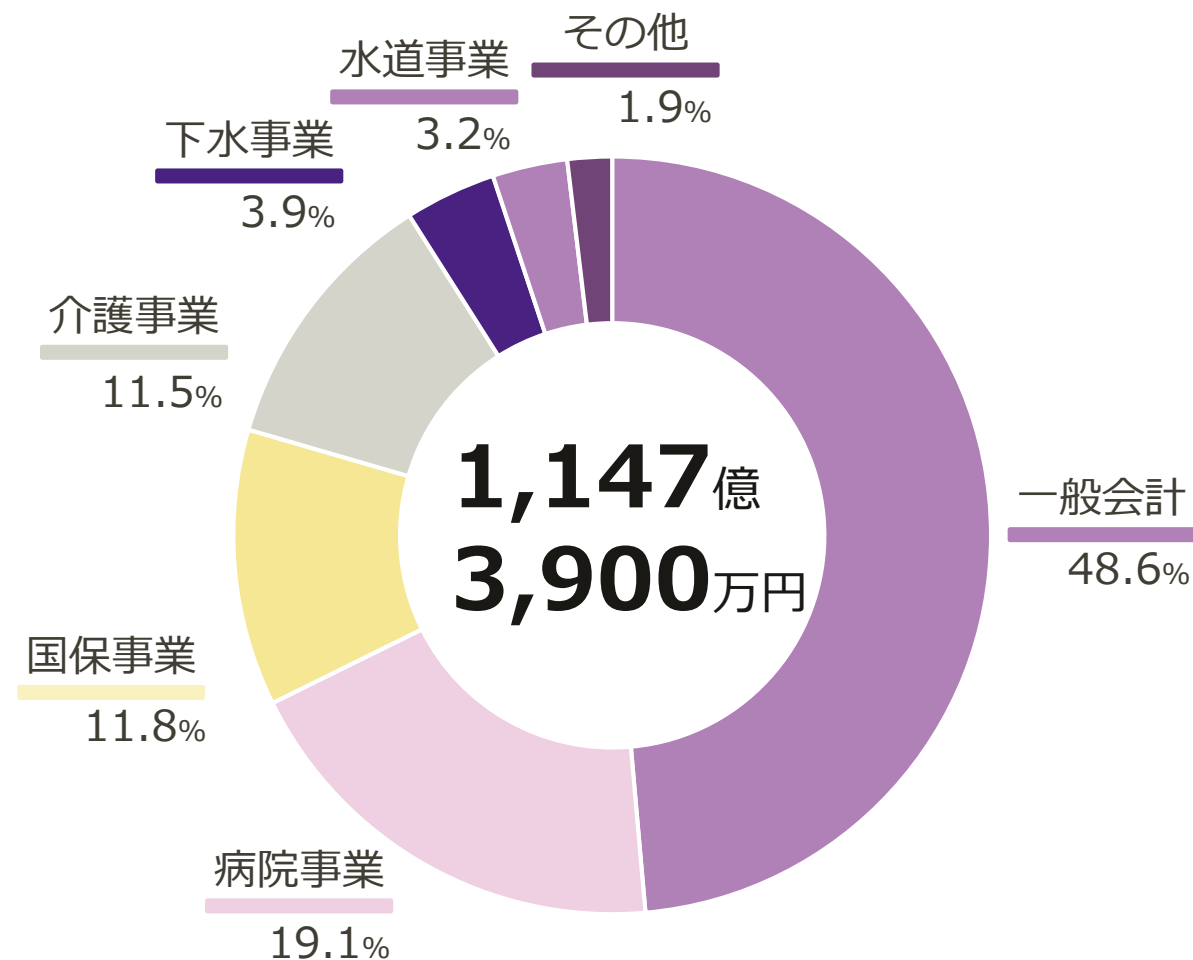
- ◆基金の活用を図りながらも未来の財源を確保
- ◆財政調整基金残高は約42億円増（H20比）

当初予算の規模

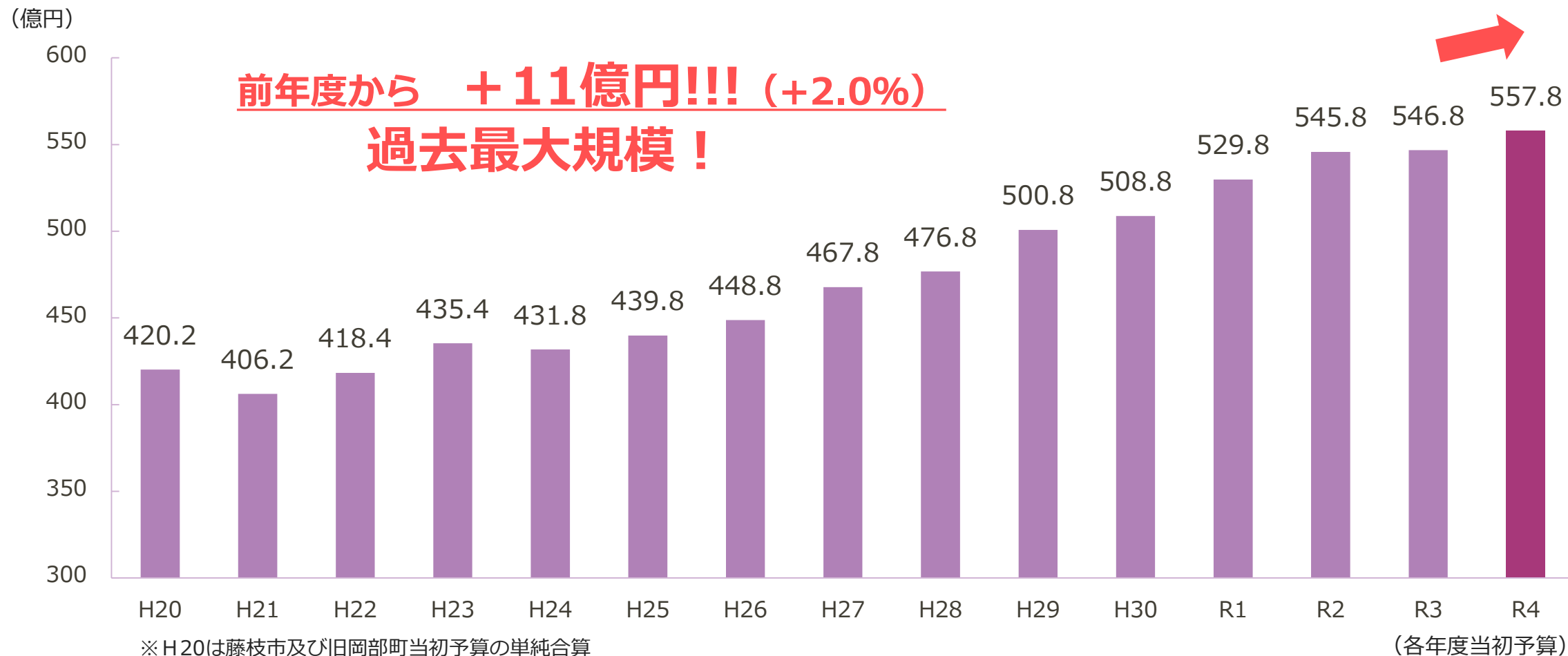


令和4年度 会計別予算構成

		(前年度増減率)
一般会計	557.8億円	+2.0
病院事業	218.9億円	+2.4
国民健康保険事業	135.0億円	▲1.5
介護保険事業	131.5億円	+4.3
下水道事業	45.2億円	▲5.0
水道事業	37.4億円	+0.7
その他の会計	21.6億円	+9.7



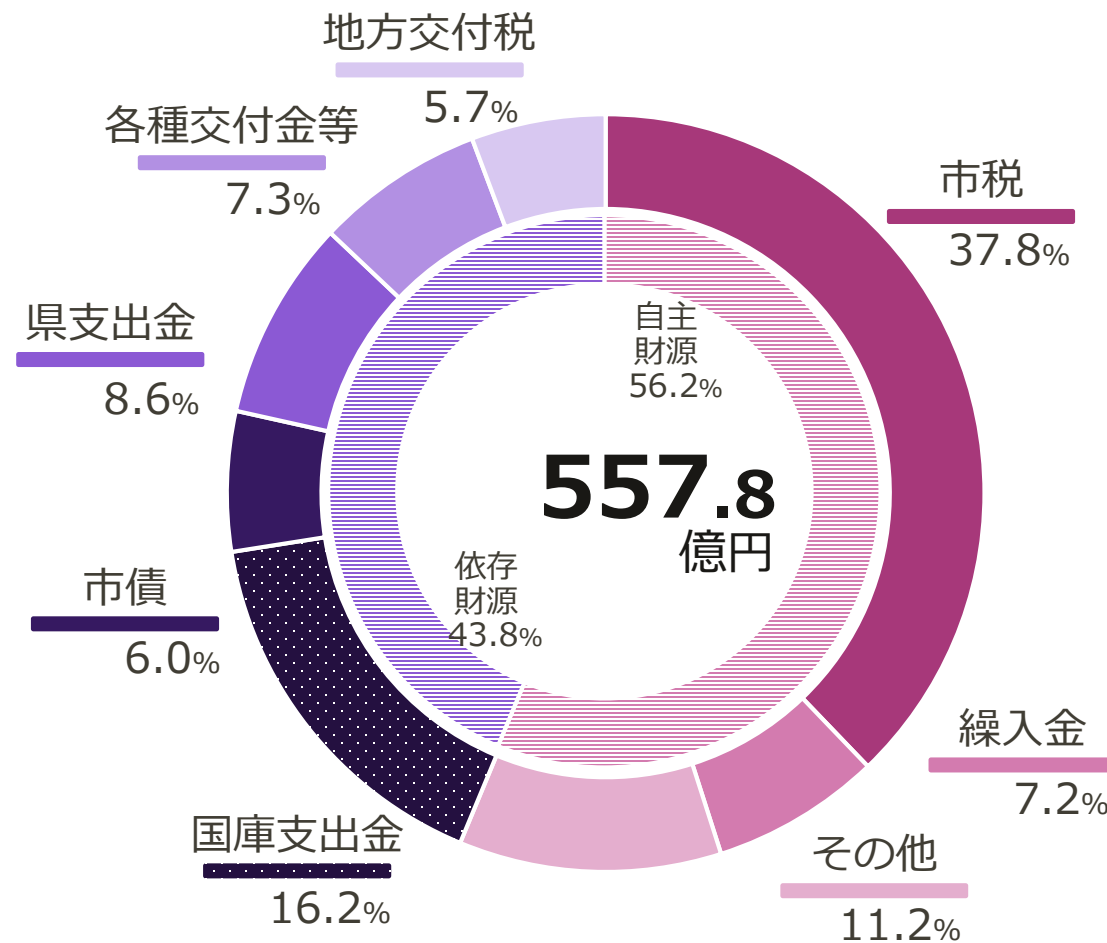
一般会計 予算額の推移



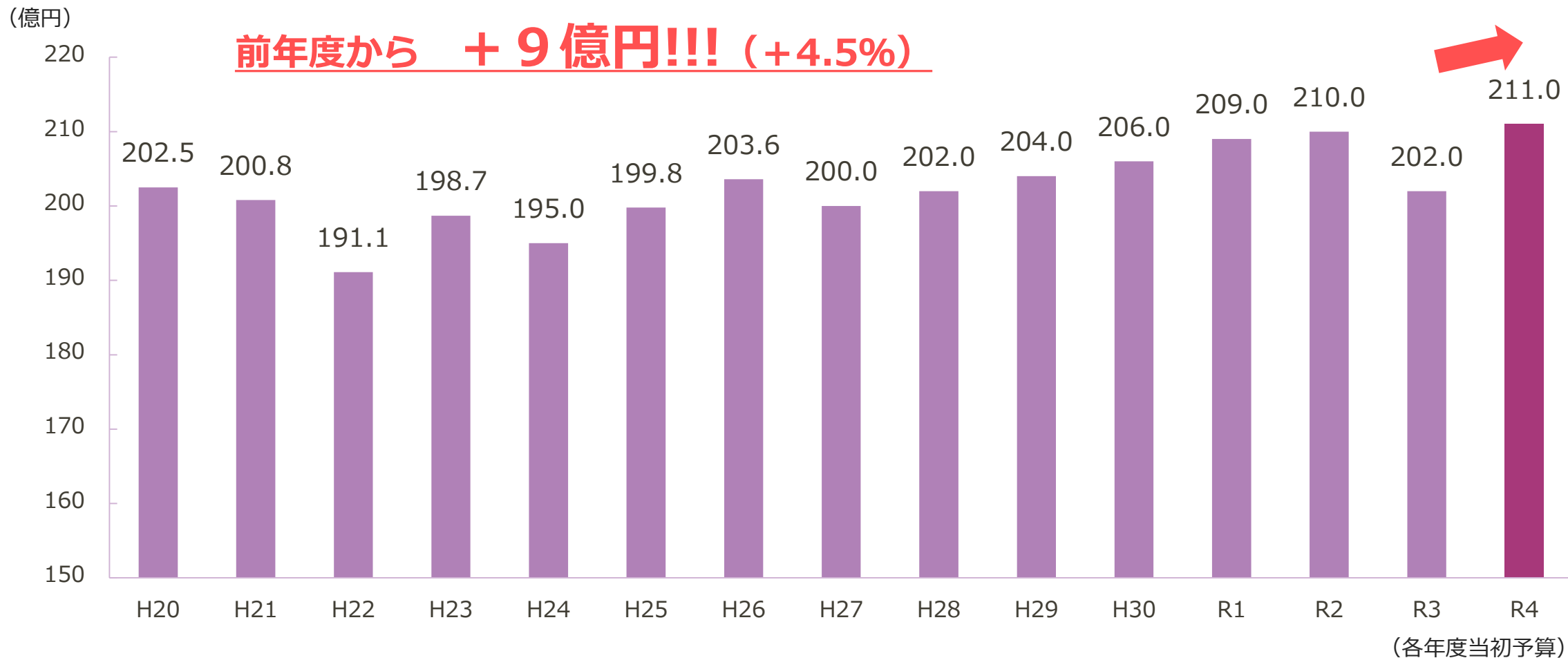
令和4年度 一般会計 歳入構成

(前年度増減率)

市税	211.0億円	+4.5
各種交付金等	40.2億円	+2.4
地方交付税	32.0億円	+3.2
国庫支出金	90.6億円	+7.3
県支出金	47.8億円	+10.8
繰入金	40.4億円	+45.8
市債	33.3億円	▲38.0
その他	62.5億円	▲4.6



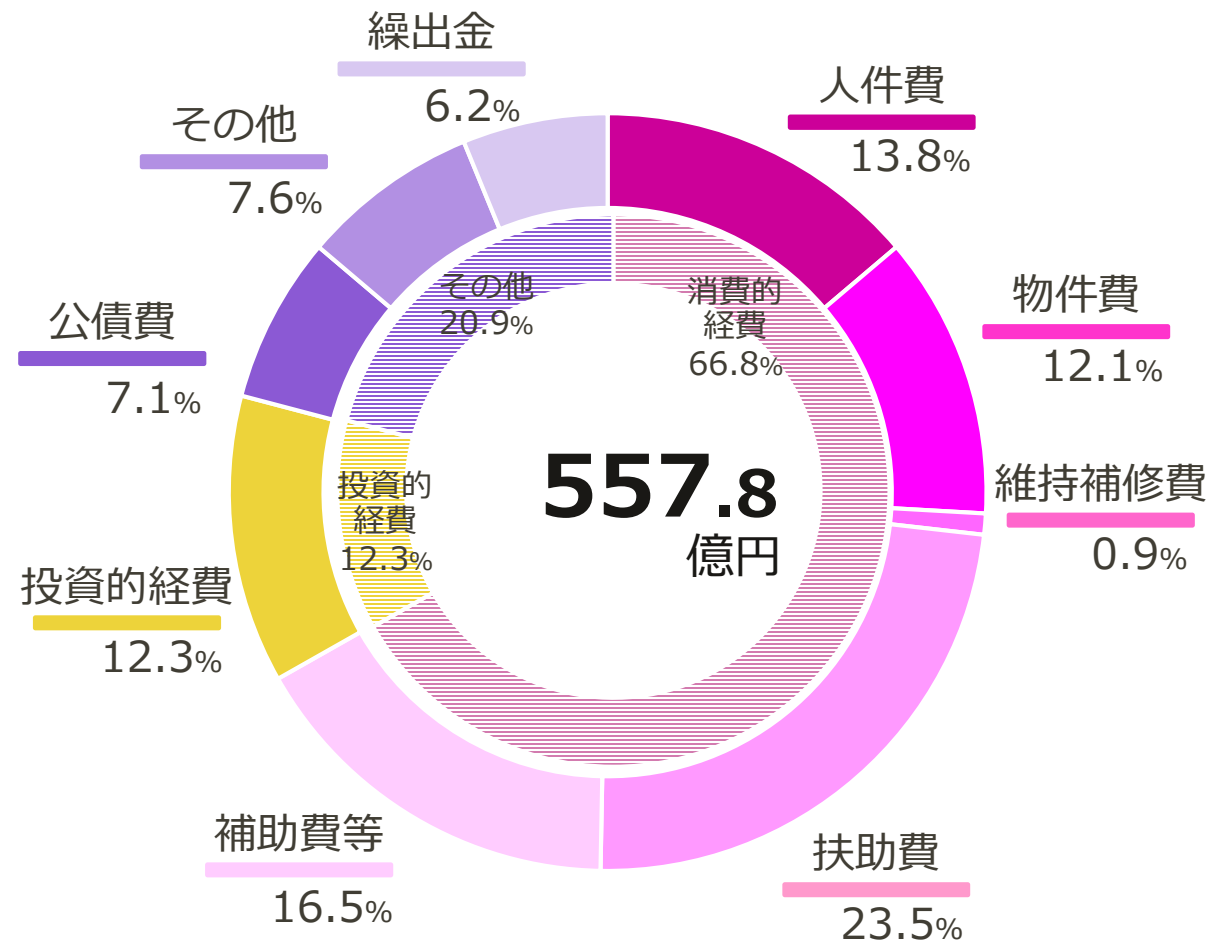
市税の推移



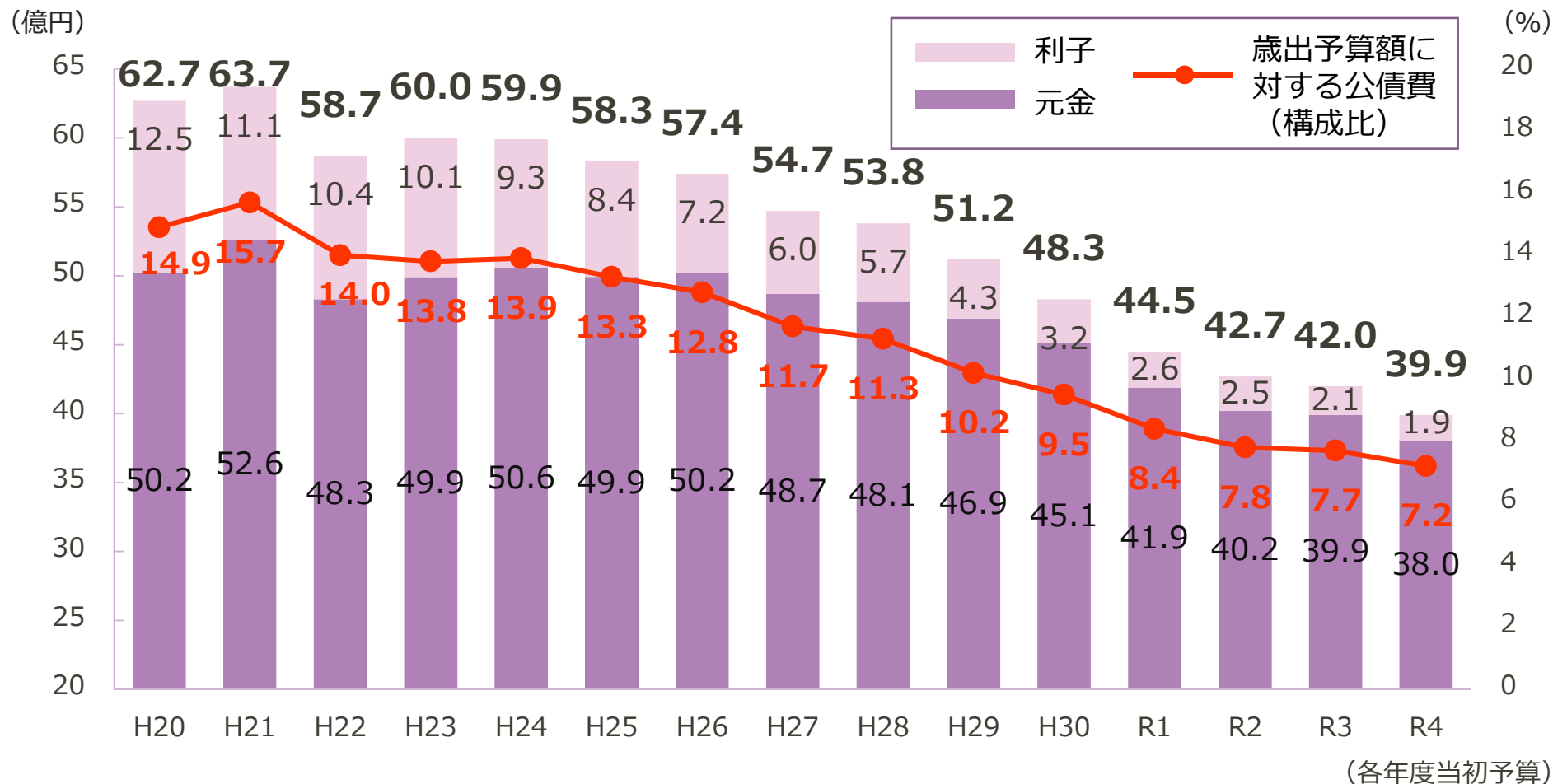
令和4年度 一般会計 歳出構成

(前年度増減率)

人件費	76.9億円	+2.1
物件費	67.2億円	+5.9
維持補修費	4.8億円	▲1.5
扶助費	131.3億円	+1.4
補助費等	92.2億円	+4.1
投資的経費	68.8億円	▲6.5
公債費	39.9億円	▲5.1
その他	42.1億円	+14.6
繰出金	34.6億円	+5.9



一般会計 公債費の推移



H20年度

62.7億円



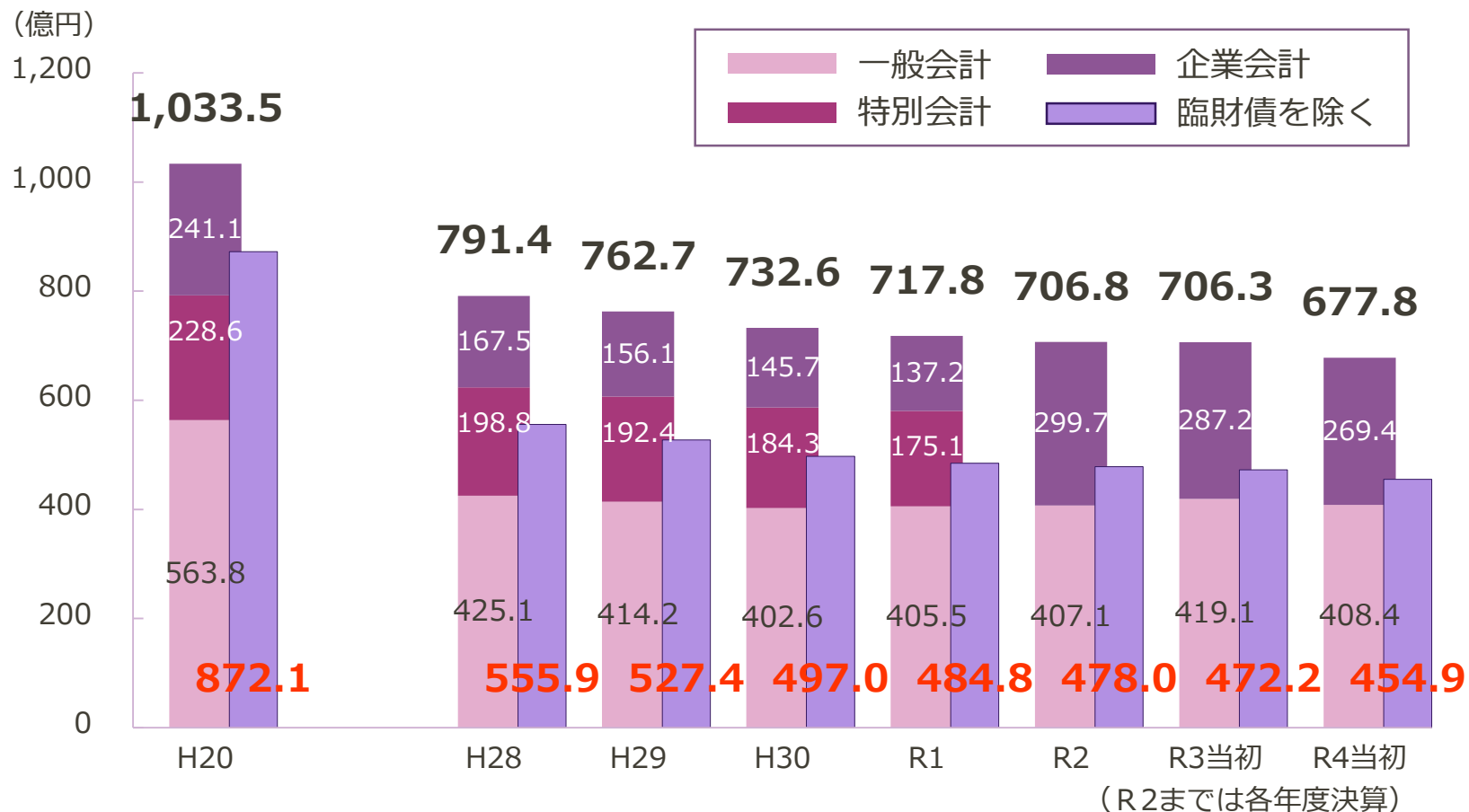
▲22.8億円

R4年度

39.9億円

市民サービスや
4 K施策に削減分を
重点的に活用

各会計別 市債残高の推移



臨時財政対策債等を除く
全会計市債残高合計

H20年度

872.1億円



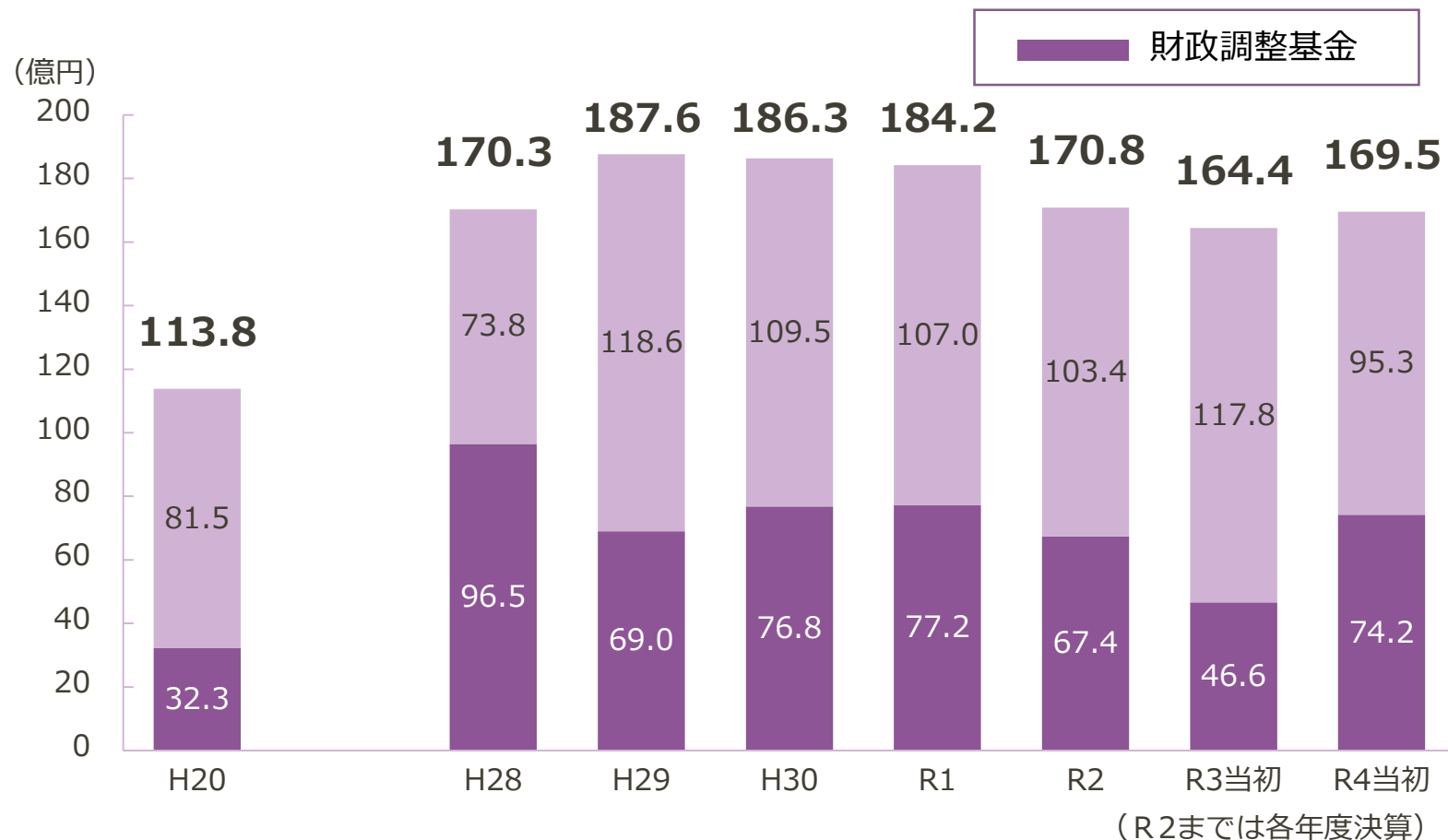
▲417.2億円

R4年度当初

454.9億円

経費の節減や交付税措置がある
起債の有効活用などにより
市債残高を着実に削減

基金残高の推移



基金残高の合計

H20年度

113.8億円



+55.7億円

R4年度当初

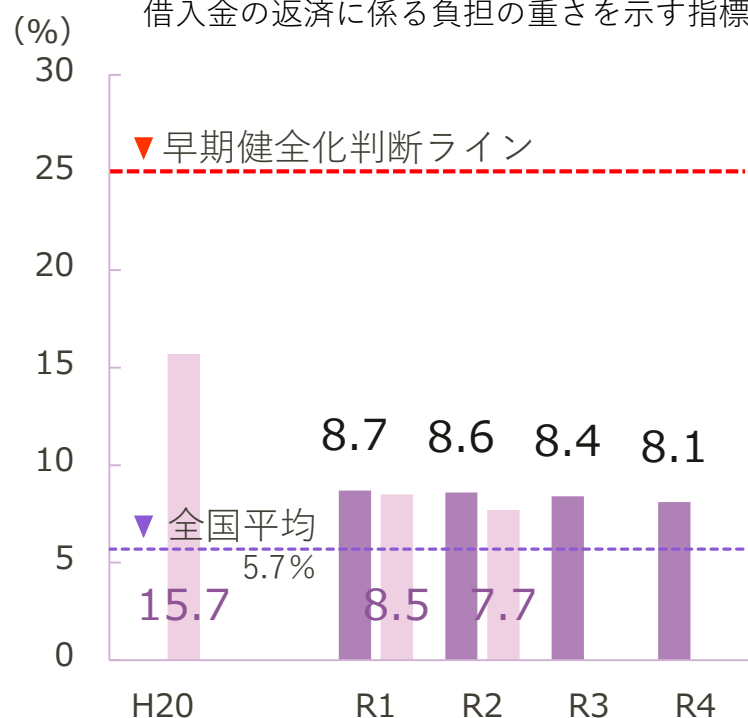
169.5億円

事業目的に合わせて
基金を積み立て
必要な財源を確保

各種指標の推計

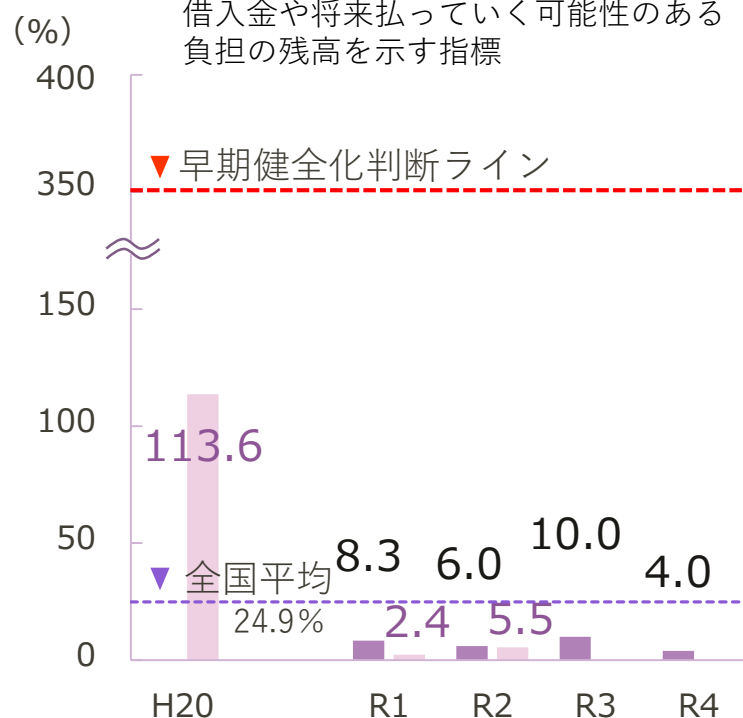
実質公債費比率

借入金の返済に係る負担の重さを示す指標



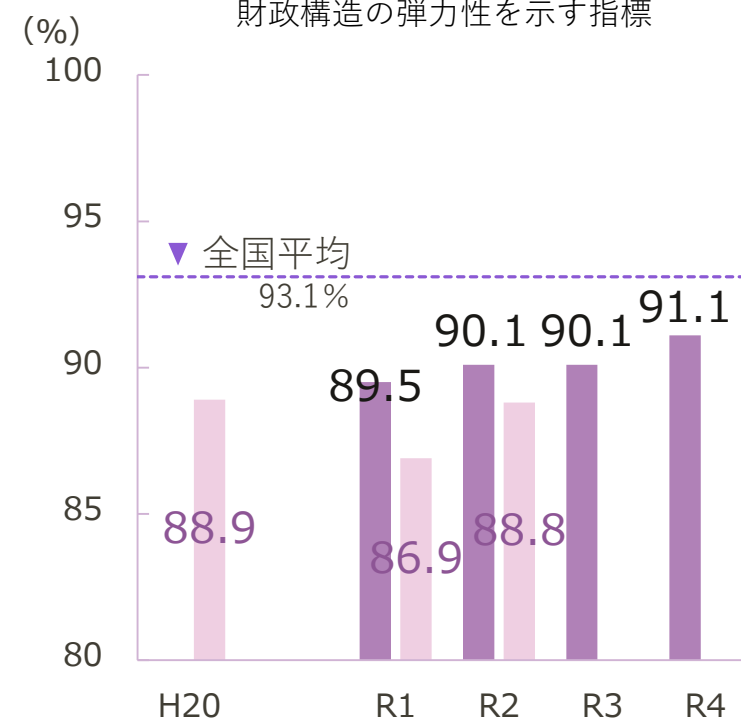
将来負担比率

借入金や将来払っていく可能性のある負担の残高を示す指標



経常収支比率

財政構造の弾力性を示す指標



市債残高の縮減により**健全化判断比率は着実に改善！**

■ 当初予算ベース
■ 決算ベース
※全国平均はR2年度決算ベース

行政組織に関する方針

“幸せになるまち”の実現へ

「市民生活の総合サポート」と「将来への基盤づくり」を戦略的かつ機動的に進める組織体制への転換

持続力ある農林業に向けた戦略的な展開と環境整備の推進

産業振興部内に

「**農業振興課**」「**農林基盤整備課**」を新設

- ・農地集積・集約化など農地利用の推進
- ・次世代農業の戦略的な展開
- ・農業基盤や森林環境の整備等の推進

安心して生活できる社会環境づくりの推進

福祉政策課内に「**自立生活サポートセンター**」を新設

健康福祉部内に「**障害福祉課**」を新設

- ・福祉課題に対する包括的相談体制の確立
- ・生活困窮、ひきこもり対策、障害者支援の強化

定住環境整備と定住誘導の一元的な推進

都市建設部内に「**住まい戦略課**」を新設

- ・空き家・空き地活用の強化
- ・新たな宅地開発誘導や優良田園住宅制度の拡充、定住支援などを一元的に展開し、人口対策を推進

行政組織に関する方針（主な組織改編内容）

部・局	課・室	係・担当	狙い
健康福祉部	福祉政策課【改編】 （自立生活サポートセンター）	自立支援係【新設】	複雑化する福祉課題に対する包括的相談体制確立と、生活困窮や引きこもり対策と就労支援を強化
	障害福祉課【新設】		障害者の生活・就労支援を強化するとともに、安心して生活できる社会環境づくりを推進
	健やか推進局	コロナウイルス対策課【新設】 （R4.1～） 接種係【新設】	コロナワクチンの接種の推進とともに、感染拡大の防止と対策を一元的に推進・強化
	子ども未来応援局	子ども・若者支援課【改編】 家庭支援給付係【改称】	虐待や貧困、家族のケア等の課題を抱える子ども・若者への一貫した支援の充実・強化
産業振興部	農業振興課【新設】 （農業委員会事務局）	農地利用係【新設】 農地利用最適化担当【改称】	農業委員会を統合して農地利用業務を一元化し、農地集積・集約化や次世代農業を戦略的に推進
	農林基盤整備課【新設】		持続力ある農林業のため、農業基盤の整備や森林の管理・環境整備、災害対策等を一元的に推進
都市建設部	住まい戦略課【新設】	住宅政策係【新設】	人口対策の強化に向け、空き家活用の強化とともに、宅地開発誘導など定住の環境整備を推進

職員体制の充実

“幸せになるまち”藤枝づくりの実現に向け、新公共経営推進の基盤となる「人づくり」を推進

現在、未来の市政を担う人財の確保

●職員数

770人（+12人）

第6次総合計画の着実な推進や、市民生活の総合サポートの充実を図るため、必要な職員数を確保し各部署に適切に人財を配置する

●体制を強化して展開する主な施策等

- ・新型コロナウイルス対策の充実（1月から実施）
- ・子供から若者まで一貫して支援できる体制づくり
- ・支援が必要な住民が安心して暮らせる体制づくり
- ・空き家対策の強化と住みたいまちの推進に向けた体制づくり
- ・あらゆる世代に親しまれる公園の利用促進に向けた体制の強化
- ・子供達に美味しい給食を提供できる体制の強化

施策推進、組織活性化に向けた職員力の向上

●デジタル人財の育成に向けた研修実施

- ・急速に進展するデジタル化に対する共通理解を深め、各分野において活用していくため、DXについて学び、実践意識を醸成する研修を新たに実施
- ・新たに地方公共団体情報システム機構へ職員を派遣

●人財育成のための職員派遣の拡大

職員の視野拡大、専門的知識やスキルの習得及び幅広いネットワークを構築するため職員を派遣

10団体（R3）→ 12団体（R4）

- ・国（環境省・国土交通省）
- ・静岡県（県庁・東京事務所）
- ・他自治体
- ・各種団体（クレア、J I A M等）
- ・民間企業（静岡銀行、静岡鉄道等）

新型コロナウイルスへの対応

感染症対策の充実

- コロナウイルス対策課の設置 (R4.1 スタート)
- ワクチン接種体制の確保 (⇒ P 52)
- 高齢者入所施設等の感染対策
- 小中学校、保育所等の感染対策
- 自宅療養者への療養支援



自宅療養者への食料の提供

新しい生活様式への転換等

- 公共施設web会議環境の整備 (⇒ P 37)
- 電子図書館の導入 (⇒ P 51)
- 経済対策、さらなる感染症対策への対応 (予備費)



2 重点戦略事業

I コンパクト+ネットワーク のまちを創る

多彩な魅力を放つ拠点を創る



開発が進む藤枝駅周辺／駅前一丁目9街区（イメージ）

戦略的土地利用の推進

2,000万円

重点地区の新たな土地利用検討を進め、事業化を推進

- 水上地区、善左衛門・大東町地区、上当間・下当間地区
- ・地元活動支援 ・土地利用計画の作成 ・意向調査等

中心市街地再開発の推進

2億5,640万円

中心市街地再開発の早期事業化を推進

- ・都市計画決定（駅前一丁目6街区0.3ha）
- ・事業計画、組合設立認可（駅前一丁目9街区0.3ha）

陶芸村構想の推進

4,000万円

中山間エリアに新陶芸センターと道の駅を整備

- ・用地取得 ・新陶芸センター実施設計
- ・造成工事実施設計
- ※供用開始 R7予定

拠点同士をつなげるネットワークを創る

仮宿高田線道路整備事業費 2億8,940万円

クリーンセンター事業等に合わせた道路整備

- ・ 道路工 L=200m ・ 舗装工 A=2,000㎡
- ・ 切土法面工 L=300m ・ 先行載荷盛土工 L=300m
- ・ 載荷盛土動態観測業務委託 1箇所

天王町仮宿線道路整備事業費 3億8,450万円

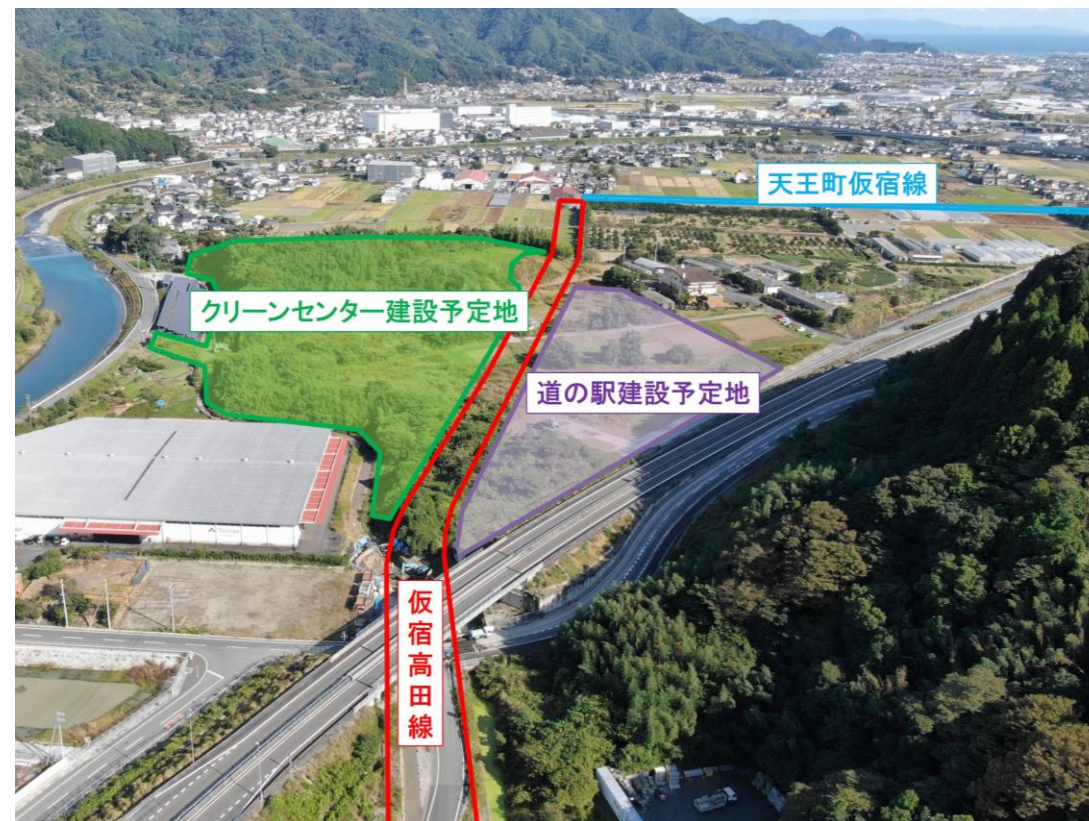
仮宿高田線、藤枝バイパスの整備に合わせた道路整備

- ・ 道路工 L=400m ・ 実施設計 1式
- ・ 藤枝バイパス立体交差工事負担金 ・ 移転補償 N=1式

田沼街道踏切改良事業費 1億4,050万円

踏切道改良促進法に基づく田沼街道踏切の改良

- ・ 舗装工 車道 A=972㎡ 歩道 A=345㎡
- ・ 街渠工 L=110m ・ 踏切内道路改良工事負担金



仮宿高田線・天王町仮宿線

品格と魅力のある都市空間を創る



藤枝駅北口広場（改修後のイメージ）

駅前広場改修事業費

2,600万円

駅北バスロータリー周辺の雨除け屋根及び照明の改修工事

通路雨除け屋根への間接照明の設置と塗装を実施

- ・ 照明施設工 N=55基
- ・ 塗装工 A=1,000㎡



つたの細道公園

New

公園再整備の推進

900万円

市民の憩いの場所となる公園の再整備を推進

実施箇所：岡出山公園、金比羅山緑地、つたの細道公園

- ・ 眺望支障木伐採、剪定
- ・ 園路等施設改修
- ・ サクラやモミジ等花木植栽 等

“環境日本一”のまちを創る



食材食べ切り料理教室

《組織》

環境政策課内に「**自然環境保全担当**」を新設

豊かな自然環境を適切に保全し、生物多様性を持続させる普及啓発等を推進するための体制の構築

廃プラ・食品ロス対策推進事業費

372万円

プラごみによる環境汚染及び食品ロスの抑制・削減を推進

○プラスチック資源循環の推進に関する条例の制定 New

R5.2 2月議会上程予定

○食品ロス削減計画策定 New

計画期間：R5～R7（3年間）

New

生物多様性推進事業費

400万円

生物多様性の保全と自然共生型社会の構築を推進

○生物多様性地域戦略の策定

計画期間：R6～R15（10年間）

R4 基礎調査 R5 計画策定

“環境日本一”のまちを創る

河川愛護事業交付金 2,000万円

市民が行う河川の堤防の草刈り等に対する補助制度

河川の堤防の草刈り等を行う町内会等への補助

- ・ 交付予定団体数：101団体
- ・ 交付額：20円/㎡

※R4～単価改定 **拡充** ↑

New

エネルギー地産地消推進事業費 200万円

J-クレジット制度を活用した温室効果ガス削減の促進

- J-クレジット制度（国）に協調した補助制度の創設
対象：市内事業所、工場
補助：登録・認証に要する経費の1/2（上限550千円）
- J-クレジット活用セミナーの開催
ワンストップ窓口の開設（環境政策課内）
事業所への情報提供（市、商工会議所、商工会）



河川護岸の草刈り／屋根を活用した太陽光発電

安全・安心な災害に強いまちを創る



原子力防災訓練（避難者の放射線量の測定検査の様子）

原子力災害対策事業費

265万円

原子力災害に備える対策を推進

- 浜岡原子力発電所災害広域避難計画の周知、訓練
 - ・計画パンフ印刷、全戸配布
 - ・原子力防災訓練の実施（県、関係市町）R5.1（予定）

災害時避難行動要支援者支援対策事業費 166万円

災害時の避難行動に支援が必要となる方の備えに対する支援

- 避難行動要支援者台帳の整備
- 避難行動要支援者個別避難計画モデル事業 *New*
 - 対象：モデル地区内の要支援者50人程度
 - 内容：実効性ある避難計画の策定に向けた調査検討、モデル作成

安全・安心な災害に強いまちを創る



河川監視用ライブカメラ／河川水位計

水害対策の推進

3,112万円

事前の水害への備えとなる河川水位等の情報・分析の促進

○河川水位・雨量観測システムの整備 *New*

河川監視用のライブカメラの設置

N=3基 葉梨川、法の川、黒石川

○A I 河川水位予測実証実験負担金

- ・市内中小河川の観測地点の水位・雨量データを収集
- ・気象データなどとともにAI（人工知能）で数時間後の河川水位を予測
- ・システムの実装に向け、精度を高めるための実証実験

安全・安心な災害に強いまちを創る

住宅・建築物耐震改修事業費 9,670万円

地震による被害軽減に向け、耐震診断、補強を支援

○木造住宅補強計画・耐震補強工事補助金

補助率：100%（～R3:80%）

限度額：一般 100万円（～R3: 90万円）

高齢・子育て世帯 120万円（～R3:110万円）

※補助率、限度額を割増 **拡充**↑

○**屋根耐風診断・耐風改修補助金** **New**

・耐風診断 専門家による耐風診断費用を助成

補助率2/3 上限 21千円

・耐風改修 診断結果に基づく屋根改修費用を助成

補助率23% 上限522千円



地震で倒壊した家屋

“交通安全日本一”のまちを創る



ふじりんを活用した交通安全教室

交通安全日本一推進事業費

2,540万円

交通安全日本一に向けた取組を推進

- **高齢者自転車体験会** New
市内自転車販売店、自動車学校と連携して開催
自動車学校教習コースを使用した体験会・講習会
- **高校生いのちの教室** New
高校生を対象に、交通事故被害者家族の講話
- **高齢者運転技能維持のための運動教室** New
理学療法士による運転技能維持に役立つ運動
- **ふじりんを活用した交通安全普及活動** New
ふじりん着ぐるみ制作、全小学校に等身大パネル設置

ゾーン30交通安全施設整備事業費

500万円

速度30km/hの区域設定や路面表示等の交通安全施設整備

- ・高洲南小地区 A=26ha 路面表示、グリーンベルト等
今後、人の流れを見える化し、その分析データを活用することで更なる危険箇所を抽出

Ⅱ 産業としごとを創る

力強い地域産業と人材、雇用を創る

高校生等の地元企業への就職の促進

225万円

地元高校生等に対して地元企業への就職を促進

志太3市で連携して以下の取組を実施

- ・ 地元企業による学校出張授業
- ・ インターンシップ
- ・ オンライン会社説明会

高校生に加え、大学生や専門学校生も対象に事業を拡大

Uターン・地元就職応援事業費

650万円

産官金連携により大学生等の地元企業への就職と定住を促進

- Uターン・地元就職応援情報サイト“C'mon Wakamon”

地元企業の紹介やインターン情報等を学生に発信

- 奨学ローン販売（市内金融機関）

教育資金を市内金融機関が低金利によりサポート

- 就職奨励金（R7～）

Uターン・地元就職応援プロジェクト制度の登録者かつ奨学ローン等利用者と、大学等卒業後本市に1年間定住し正規職員として1年間雇用された者に500千円を交付



地元企業による高校出張授業

力強い地域産業と人材、雇用を創る



市民ふれあい農園

市民ふれあい農園整備事業費補助金 300万円

遊休農地を活用した農業体験の場の提供を支援

- ・対象者 市民農園開設希望者、既開設者
- ・対象経費 圃場整備、給排水施設設置、トイレ設置等
- ・補助率 9/10 一般（500㎡以上） 上限 50万円
中型（1,000㎡以上） 上限100万円

《組織》

農林課、農業委員会事務局を分離・統合し、
「**農業振興課**」 「**農林基盤整備課**」を新設

農地利用の適正化や次世代農業の拠点づくりとともに、
安定的な農業の環境整備や森林管理を推進するための
体制の構築

農業施設の整備・更新の推進 6,050万円

農業施設の計画的な整備・更新を推進

（R4新規着手事業）

- ・畑総第2号幹線農道 ・稲川1号、2号用水堰
- ・仮宿用排水路 ・高柳水門 ・大洲用排水路

新たな産業、独自のビジネスを創る



首都圏企業への説明会

首都圏企業誘導の推進

1,500万円

首都圏企業等の誘導、企業間連携で市内産業の成長を促進

○首都圏企業への説明会、合同研修ツアー、体験会

○**藤枝DXセンターの開設** *New*

場所：ミキネ内シェアオフィス

内容：ビジネス展開のサポート、事業革新相談会

首都圏企業と市内企業のマッチング、交流会 等

オフィス機能等立地推進事業費補助金

1,000万円

首都圏企業のオフィス機能等の誘致を推進

○**テレワーク施設使用料の支援** *New*

市内テレワーク施設の利用事業者に使用料を補助
(補助率：1/3 上限3万円/月)

○オフィスの設置に要する経費

市内に新たにオフィス等を設置する企業等に
改修費、設備費、土地建物取得経費等を補助
(補助率：1/2～1/3)

新たな産業、独自のビジネスを創る

New

企業経営再興サポート事業費

600万円

新商品、新サービス開発等のサポート体制を構築

- 市内企業の保有技術及び連携ニーズのデータベース化
 - ・目利き力あるコーディネーターによる企業訪問を実施
 - ・保有技術等、提携ニーズを整理し、マッチングなどに活用し、新たな市場や価値の創造を促進
- キックオフセミナー開催（企業連携の実例紹介）
- 事業計画策定支援 等

企業立地促進事業費補助金

6億6,420万円

市内の指定区域を対象に企業誘致を推進

- ・用地取得費や新規雇用増加数に応じて補助
（補助率：5%～40% 上限最大4億円）
R4予定：高田工業団地内 3件、その他 1件



内陸フロンティアパーク藤枝たかた

ICTで人と仕事を呼び込むまちを創る



若者によるお茶摘みの手伝い

New

ICT活用観光推進事業費

250万円

ICTを活用し、新たな来訪者獲得や関係人口の増加を促進

- デジタルスタンプラリーの実施
 - ・ハイキングコース内のチェックポイントの通過をGPSで把握できる民間アプリを活用
 - ・文化財や地域の店舗をチェックポイントに設定
 - ・ハイカーの寄り道などで回遊や消費を促進
- 「旅＋お手伝い」を通じた地域のファンづくり
 - ・人手不足の地域産業と地域を旅したい、地域で働きたい若者等をマッチングするweb上の民間サービスを活用
 - ・お茶摘みや農作物収穫などの「有償のお手伝い」を通じて地域の魅力を伝える直接的な体験の機会を創出
 - ・首都圏等からの誘客を促進し、観光客の誘客や関係人口の創出を促進

ICTで人と仕事を呼び込むまちを創る

New

デジタル活用サポート事業費

1,360万円

高齢者等のデジタルデバイドの解消を促進

○デジタルサポート事業

各所でデジタルデバイス解消に向けたサポートを実施

内容：各種申請手続支援、スマホの基本的な使い方 等

場所：地区交流センター、郵便局、携帯ショップ 等

○デジタル活用サポート講座

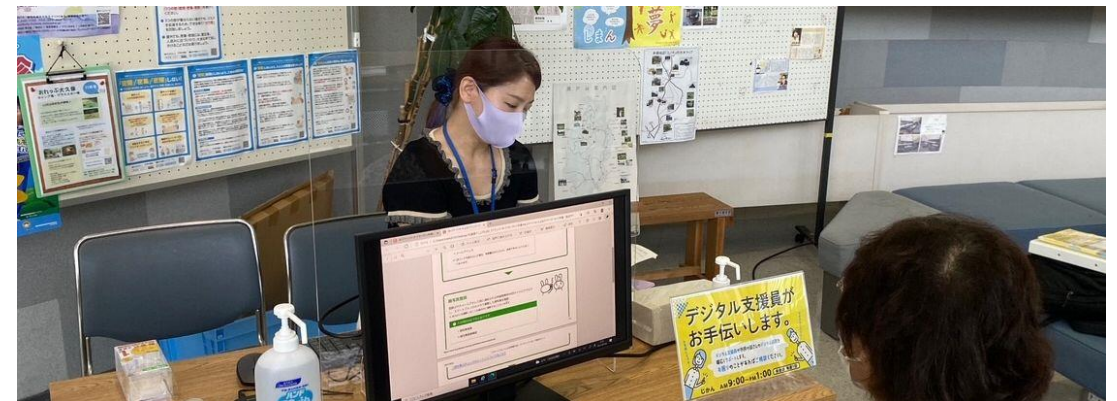
各地区交流センター等において、スマホ未所有者を対象としたスマホ・アプリの使い方講座等を実施

行政手続オンライン化事業費

2,200万円

市役所に申請する手続のオンライン化を推進

- ・国で定められた業務（子育て・介護26業務）に係る申請業務を国システムの利用によりオンライン化
- ・その他業務については、5市2町でサービスを共同調達する汎用電子申請サービスで展開



市デジタル支援員／オンライン手続（イメージ）

将来に向けた市役所の基盤を創る



現市庁舎

New

次世代型新庁舎整備構想づくりの推進

次世代の新庁舎整備に向けた検討をスタート

- 新庁舎整備構想の策定 200万円
庁内次世代庁舎整備構想検討委員会を設置し構想を策定
- 庁舎整備基金元金積立金 5億円
新庁舎の建設に備えて基金を積み立て



リモート会議（イメージ）

New

公共施設web会議環境の整備

500万円

公共施設でリモート会議等を行うことができる環境を整備

- リモート会議用パソコン等の整備
 - ・地区交流センター、文化センター、岡部支所など17施設に整備
 - ・市主催会議をリモート開催し、参加者は自宅や近くの公共施設から参加できる環境を創出

Ⅲ ひとの流れを創る

移住・定住の大きな流れを創る

優良田園住宅移住促進事業費補助金 1,500万円

優良田園住宅に認定した土地へ子育て世帯の移住を促進

- ・優良田園住宅区域の新築住宅に移住した世帯に対し補助
対象経費：新築住宅の建築、購入経費
補助率等：1/2 上限50万円～100万円
※R4～対象エリアを拡充（大洲地区追加）



空き家活用・流通促進事業費 6,200万円

空き家の流通促進を通じて移住定住を推進

- ・空き家（中古マンション含む）購入、改修に対する補助
対象経費：空き家の購入、改修及び市外からの移転経費
補助率：対象経費1/2 上限300千円～700千円

《組織》

都市建設部に「住まい戦略課」を新設

空き家活用の強化とともに住宅開発制度など人口対策に資する「住宅施策」を集約し、定住環境整備と定住誘導を一元的に推進する体制を構築



リフォームされた空き家

移住・定住の大きな流れを創る



移住者と地域住民との交流（写真はコロナ禍以前）

中山間地域移住定住促進事業費

184万円

都市住民等の中山間地域への移住定住を促進

- 移住定住に関するワンストップの相談支援
中山間地域に移住した母親「さとやママ」が相談から移住後のフォローまでをきめ細かく切れ目なく実施
- 首都圏等での移住相談会

UIターン就職の促進

250万円

首都圏や中京圏の学生の市内企業への就職を促進

- ・高校生や地元出身県内外大学生等に企業情報を発信
就職情報誌の作成、合同企業説明会、就活セミナー、業界研究会等を、志太3市が連携して実施

地域全体で大きな交流を創る

ワーケーションの推進

380万円

中山間地域施設を活用したワーケーションで人の流れを促進

- ワーケーション施設利用費補助
大久保キャンプ場をワーケーション利用した企業等に補助
補助率：宿泊料金の1/2 上限1泊8千円
- ワーケーション環境整備補助 **New**
ワーケーションの環境整備実施施設に備品経費等を補助
補助率：1/2 上限25万円
- ワーケーション環境体験見学会 **New**
企業などを対象に大久保キャンプ場をはじめとする
ワーケーション環境をPRするための見学会を開催

全国都市緑化北海道フェア出展事業費

230万円

友好都市恵庭市で開催される緑化フェアで本市の魅力をPR

期間：R4.6.25～7.24（期間中の土日に出展）

場所：恵庭市はなふる（花の拠点）周辺

内容：式典（6.25）ステージイベント、ブース出展 他
藤枝セレクション、スイーツ、特産品の販売、PR



都市緑化フェア（イメージ）

“藤枝の宝”を活かしたまちを創る



柏屋内の五右衛門風呂



柏屋の竹あかり展

New

大旅籠柏屋整備事業費

200万円

文化財の観光資源化による街道文化への関心の向上促進

○五右衛門風呂改修による浴室再現工事

江戸時代の旅気分を体感できる施設に改修し、
旅籠への宿泊体験や風呂文化の紹介などを実施

R4 浴室設計 R5 改修工事 R6 供用開始

東海道ブランド化推進事業費

320万円

近隣市町と連携し東海道関連遺産のブランド化を推進

○東海道ライトアップリレー **New**

大河ドラマ（どうする家康）の放映に併せて、
徳川家康とゆかりのある施設を順次ライトアップ
本市予定施設：大慶寺、田中城下屋敷、柏屋

“藤枝の宝”を活かしたまちを創る



蓮華寺池公園／工事中の旧藤枝製茶貿易商館（通称とんがり屋根）

《組織》

花と緑の課内に「公園魅力づくり担当」を新設

蓮華寺池公園などのさらなる魅力創出と機能向上を図り、付加価値を高める取組を推進するための体制の構築

蓮華寺池公園の魅力向上の推進

663万円

再整備が完了した蓮華寺池公園で新たな賑わいを創出

○リニューアル・オープニングセレモニーの開催 New

再整備事業完了に伴うリニューアル・オープニング
セレモニーを開催 R4.4（予定）

・式典、移築した旧藤枝製茶貿易商館のお披露目等

○蓮華寺池公園サポーターズ事業 New

蓮華寺池公園でのボランティアの登録制度を創設。

花や花木の植栽活動など市民と協働で魅力づくりを推進

○ビューポイントの整備 New

蓮華寺池公園の中で眺望がよいスポットを選定し、PR

○イルミネーションの点灯 R4.11～R5.2（予定）

市民が安心便利に暮らせる環境を創る



出かけっCARサービス

市民の外出・移動支援の促進

988万円

市民の日常生活における移動手段を多方面から支援

- 出かけっCARサービス支援事業（高齢者の移動支援）

地域ボランティア等が実施する高齢者の
移動支援活動を支援

実施地区：瀬戸谷、葉梨、西益津、高洲、大洲

- 外出支援デマンドバス「ふじえだ^{あし}足すと号」の運行 New

概ね5人以上の団体の高齢者等の外出支援

運行：平日8：30～17：00（R4夏 開始予定）

- 自家用有償運送事業費補助金 New

高齢者等移動支援を自家用有償旅客運送事業で
実施する者へ補助

対象：運転手への謝礼、燃料費等の経費

補助上限：200千円

市民が安心便利に暮らせる環境を創る

New

高齢者補聴器購入助成費

300万円

聴力機能が低下した高齢者の補聴器の購入に補助

対象者：市内在住の65歳以上で本人が住民税非課税の
者で、医師が補聴器の使用を必要と認めた者

補助率：補聴器購入経費の1/2（上限50,000円）

New

包括的相談支援事業費

300万円

介護、障害、子ども・子育て、生活困窮など対象者の
属性を問わない相談体制及び重層的支援体制の構築

- ・ 庁内関係部署との連携体制の構築
 - ・ 関係機関との協働による支援体制の構築
- ※複雑化、複合化する課題を持つ本人、家族に対する
断らない相談窓口、多分野と連携した支援体制の確保

《 組織 》

福祉政策課内に「**自立生活サポートセンター**」を新設
健康福祉部内に「**障害福祉課**」を新設

福祉課題への包括的相談体制を確立するとともに、生活困窮
やひきこもり対策、障害者の生活・就労支援を強化し、安心
して生活できる社会環境を推進する体制を構築



本人や家族との相談による支援

IV 健やかに暮らし活躍できる まちを創る

出会いと独自の子育て環境を創る



出会い・結婚の支援／岡部みわ保育園整備予定地

出会い・結婚サポート事業費

130万円

結婚に向けた出会いの場を創出

○出会い応援・市内施設等利用費補助金 New

ふじのくに出会いサポートセンター登録者で
交際時に市内施設等を利用した際の費用の一部を補助
補助率等：1/2 上限3千円

○ふじのくに出会いサポートセンター（県）負担金 New

○婚活イベントの開催（婚活パーティ、バスツアー）

New

岡部みわ保育園整備事業費

1億600万円

公立岡部みわ保育園の建替整備の推進

総事業費 658,900千円

R4 用地取得、基本計画・基本設計

R4～6 実施設計、建設工事

R7.4 供用開始予定

出会いと独自の子育て環境を創る

New

保育士・幼稚園教諭等の処遇改善 6,570万円

最前線で働く、保育士・幼稚園教諭等の処遇改善を支援

対象者： 保育士・幼稚園教諭等

対象経費： 賃金改善に伴う経費

対象施設： 認可保育所、幼稚園、認定こども園、
地域型保育事業所

補助率： 10/10

認定こども園施設整備費補助金 675万円

認定こども園の新築・増改築等に伴う施設整備への支援

○高洲こども園（幼保連携型）の整備 New

全体事業費 962,056千円

R4 実施設計、造成工事

R5 新園舎着工、R5.12完成予定

R6.4 供用開始予定



保育の様子

出会いと独自の子育て環境を創る



子どもの居場所の確保

《組織》

子ども家庭課を「子ども・若者支援課」に改編

虐待や不登校、非行、貧困、ヤングケアラー、ひきこもり、ニート等に対する継続的な支援を推進するための体制の構築

New

子ども・若者居場所事業費

400万円

不登校や引きこもりなどの子ども・若者に対する居場所の確保

不登校や引きこもりなどの子ども・若者が社会との接点を見出すための居場所を提供

委託先：NPO法人等

回数：月10回程度(月・水(毎週)、土(月1日))

内容：居場所確保、学習相談・支援、就労支援 等

“教育日本一”のまちを創る



小学校洋式化トイレ／空調設備

特別支援教育支援員等活用事業費 1億5,720万円

特別な支援等を必要とする子どもたちの学習環境を確保

- ・ 特別支援教育支援員（64名）全小中学校
- ・ **登校支援教室指導員 *New***（10名）全中学校
教室に入れない生徒の不登校の未然防止と早期対応指導
- ・ 学校看護師（3名）青島小、高洲南小、高洲中
- ・ 学校生活支援員（40名）全小学校

学校施設環境の充実 1億7,680万円

子どもたちが快適な学校生活を送るための環境を整備

- 小学校トイレ環境改善事業費
設計：藤枝中央、高洲、青島北
改修：西益津、青島、高洲南（1億330万円）
- 中学校空調設備整備事業費
設計：西益津、葉梨、大洲、瀬戸谷、青島北、岡部
整備：藤枝、青島、高洲、広幡（6,435万円）

“教育日本一”のまちを創る

新学校給食センター整備事業費

3,350万円

新たな給食センターの整備の推進

- R4 基本設計、事業認定
- R5～ 用地取得、実施設計、建設工事
- R10 供用開始予定

New

電子図書館導入事業費

200万円

電子図書館システムの導入

- インターネットを経由した貸出サービスの提供
- 蔵書数：約6,700タイトル
- 対象者：図書利用者カードを持つ市民、通勤・通学者
- 貸出数：3冊／人

《組織》

学校給食課内に「新給食センター整備係」を配置

新学校給食センター整備を推進するための体制の構築



学校での給食の様子

“健康・予防日本一”のまちを創る



新型コロナウイルスワクチンの接種

健康経営プロジェクト推進事業費

674万円

健康経営を通じて市民の健康寿命の延伸を推進

○“健幸プロ”派遣事業 **New**

企業が健康経営を始めるきっかけとして、保健師や栄養士、健康運動指導士などの専門家を企業に無償で派遣

新型コロナウイルス ワクチン接種体制確保事業費

5億2,570万円

コロナウイルスワクチン接種の促進

会場：市民体育館、浄化センター、保健センター、市内医療機関
接種想定：5歳以上 103,000人

子宮頸がん予防接種の促進

2,346万円

希望する対象市民への子宮頸がんワクチン接種を促進

対象者：小学6年生～高校1年生の女子（標準年齢は中学1年生）
接種時期を逃した17歳～25歳の女性も対象予定
（3年間時限措置）

安定・安心で高度な医療体制を創る

《組織》

経営企画課内に「広報企画係」を新設

市立総合病院の戦略的な広報を推進するための体制の構築

(病院事業会計)

医療機器の整備

4億2,580万円

老朽化した医療機器等の整備・更新

- ・全身用X線CT撮影装置・ICU用セントラルモニタ
- ・超音波画像診断装置

New

(病院事業会計)

ラピッドレスポンスカーの本格稼働

現場で救命処置と医療介入を行うドクターカーを導入

重篤な患者に対して、医師と看護師、救急救命士が直接現場に出動し、救急車の病院到着を待たずに救命処置を実施



X線CT撮影装置／ラピッドレスポンスカー（イメージ）

スポーツ・文化を活かしたまちを創る



総合運動公園サッカー場（イメージ）

《組織》

スポーツ振興課内に「施設整備担当」を新設

総合運動公園の再整備や民間活力による機能強化の検討、スポーツ施設の計画的修繕を推進するための体制の構築

総合運動公園の整備・改修

11億1,470万円

総合運動公園の整備・改修による機能強化

- 屋根付き観客席増設工事（総事業費 20億1,400万円）
R4～R6 屋根付き観客席増設工事
（非常用電源改修工事を含む）
※国補正に伴い、R4実施工事分（3億3,000万円）は
R3.2月補正により実施
- スケートパークの改修 **New**
- 野球場トイレ建築工事实施設計 **New**
- 維持管理、施設修繕、整備経費等

スポーツ・文化を活かしたまちを創る

New

村越化石生誕100年記念事業費

160万円

村越化石生誕100年を記念した各種事業を展開

○生誕100年記念式典の開催

時期：R4.12.11 場所：市民ホールおかべ

○吟行句会の開催

時期：R4.5～7（予定） 場所：玉露の里など

○俳句大会

時期：R4.7～9（表彰式は記念式典内で実施）

日本遺産推進事業費

382万円

日本遺産を活用した街道観光の推進

○モニターツアー事業 New

新たな観光商品開発に向けたモニターツアーの実施

○シェアサイクルを活用した周遊促進事業 New

自転車で日本遺産を巡るコースの造成

○日本遺産案内ガイドの養成



日本遺産案内ガイドによるまち巡り

市民の誰もが活躍できる共生のまちを創る



父親の育児参加

女性活躍推進事業費

220万円

女性が働き続けられる環境づくりの推進

○男性育休安心取得宣言プロジェクト **New**

★県内初★

- ・市内企業経営者の書面による宣言
- ・育休取得者の体験談の広報

○ふじえだ女性ビジネススクール **New**

女性のスキルアップを目指した管理職養成講座

時期：R4.9～ 全10回

会場：産学官連携推進センター

○パパママ講座（父親の家事・育児参加支援）

○男女共同参画推進事業所の認定

市民の誰もが活躍できる共生のまちを創る

アクティブシニアお仕事応援事業費 500万円

退職後も意欲と能力に応じて働くことができる環境を促進

○アクティブシニアお仕事フェア

職種別就職面接会、就労相談＆体験コーナー、
からだ測定会、シルバー人材センター入会説明会

○産業祭体験コーナー

職人技術の伝承を目的とした「職人の技チャレンジ
体験コーナー」

New

藤枝市民大学の創設 400万円

多様な学びのニーズに応える講座を市民大学として展開

○一般教養コース

高齢者等が自らの居場所や出番を見出して生きがいを感じ
る場として、多様な学習機会を提供

○リカレント教育コース

学生や社会人を対象に、学びのニーズやスキルアップに役
立つリカレント講座を実施



高齢者向けの生きがい創出講座

3 その他の取組

自治会・町内会の負担軽減への取組

地域活動の活性化に向けた、自治会や町内会活動の負担軽減策を推進

○自治会が行う配布物の削減

- ・町内会を通じて月2回配布している広報ふじえだについて、1回分の配布を民間委託に変更
- ・広報ふじえだ以外の配布物についても、種類や量、頻度等をさらに精査し、年3割程度を削減



○男女共同参画地区推進員の選出方法の変更

- ・自治会選出から公募選出に変更
- ・男女共同参画地区推進員への報償費を市で予算化

○自治会・町内会が支払う寄附金の軽減

- ・自治会・町内会の寄付により運営していた「社会を明るくする運動」に係る経費を市で予算化

○河川の堤防草刈りの負担軽減（再掲）

- ・河川の堤防の草刈り等を行う町内会等への交付金を増額

○土地利用計画承認申請の負担軽減

- ・土地利用申請時に、自治会長・町内会長・部農会長・農業委員が署名捺印する「住民等の同意書」を廃止し、責任・精神的負担を軽減

新公共経営プロジェクトチーム

まちづくりのターゲット世代である若手職員が柔軟な発想や感性を発揮し、市政の改革・発展につながる施策を市長に提言

藤枝式

しあわせになれる地域づくり

～持続可能なコミュニティの構築に向けて～

- 人的リソースの選択と集中
- 変革する時代に対応した持続可能なコミュニティの再構築
- ・業務のスリム化・デジタル化
- ・若者の取込策・協働の推進
- ・地縁コミュニティの再編



分類	提言事項	令和4年度 実施内容	予算額
業務のスリム化・デジタル化	アウトソーシングの導入	自治会等事務費交付金、河川愛護活動交付金など既存の交付金を活用し、外部に委託して実施	ゼロ予算
	連絡ツールアプリ「結ネット」の活用	「結ネット」導入実証実験として、市と自治会連合会との間で使用し、負担軽減につながる利用方法を検証	50万円
	地域活動のデジタル化 デジタルデバイド対策	地域自治活動、コミュニティ活動の拠点となる地区交流センター等にWeb会議等ができる環境を整備	500万円
若年層の取込策・協働の推進	公務員副業制度の確立	既存の「公務員の兼業制度」を活用し、職員が地域活動に関わり、施策にフィードバックできる仕組みを構築	ゼロ予算

ふじえだガールズ・ミーティング

女子学生が若い女性ならではの視点で、まちづくり活動を行い若い世代を呼び込む施策を提案



提言内容	
市民が魅力を再発見し 誇りを抱くまち	昔ながらの風景等を活かして景観を整えながら、新たなスポットを創出して活性化
市民誰もが楽しめ 記憶に残るまち	多世代が共に楽しめる体験型のアクティビティを創出してまちへの愛着を造成
多くの人が立ち寄り 全国に発信されるまち	通過点でなく立ち寄ってもらえて、全国に通用するような魅力スポットの創出

市施策への反映
藤枝旧市街地の総合再生 (景観形成推進) 250万円
新陶芸センターの整備 4,000万円
蓮華寺池公園の誘客推進 (ビューポイント・フォトスポット整備) 663万円

オンライン女子旅の実施

若い女性視点で藤枝の魅力を詰め込んだ女子旅を企画
メンバー出演の動画をオンラインでライブ配信

藤枝MYFCとのコラボグッズを制作

メンバーが企画し、デザインしたエコバッグと
ステッカーを制作し、藤枝MYFCホーム戦で販売



女性活躍推進会議 フジエヌ

各部局から選出された女性職員が働きやすい職場環境づくりに向けて調査研究を行い、施策を市長に提言

いつまでも職員に選ばれる職場の実現へ

未来を切り啓き、誰もが幸せになるまちを実現する人財・職場であり続ける！

新たに男性職員との合同会議を設け、“男性育休取得”という新たな切り口から、誰もが働きやすい職場環境づくりに向けて調査研究を実施



サブテーマ	提言事項
ピンチをピンチにしない持続可能な職場の実現	業務・スケジュールの可視化
	応援体制の整備
男性職員も育休を100%取得する職場の実現	知る機会の充実
	男性育休取得推進に向けた体制構築



令和4年度 実施内容	
終礼、朝・夜メール等により、個人・職場で業務の振り返りができる仕組みを導入	
ワンポイント・リリーフ制度※の創設 部分休業者等のサポーター制度の創設	※職員の確保等が一時的に必要な である場合の応援人員の起用
育児休業メンター制度の創設	
市長による男性育休取得推進の宣言	

“**幸せ**になるまち”藤枝へ

市民の皆様が
健康で、安心し、
希望が持てる
まちづくりのため

先頭に立って
進むべき道を“**啓**^{ひら}**き**”ます

令和4年度 当初予算案の概要

藤枝市 財政経営部 財政課

